



# 日高山脈博物館だより

## HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第22号 2013.10.

### 日高山脈ネイチャーセミナー 2013 岩石地質講座 中級 開催しました。

採取の方法と、採取試料の保管・活用方法を学びました。

9月1日に、日高山脈ネイチャーセミナー 2013 岩石地質講座 中級「岩石採取とその方法」を開催しました。

当日は、事前学習で、岩石採取に用いる道具や方法、採取した岩石の保管方法、岩石の資料としての活用法などを学んだ後、チロロ川の河原にて岩石を採取し、保管活用方法の実習を行いました。

初級の講座を受講した方の多くが、続けて中級も受講されており、岩石に興味のある方が増えてもらえればよいと思うとともに、岩石の好きな方たちのコミュニティの場としても活用できれば、と思います。

上級は、予め広報でお知らせしましたとおり、10月6日と11月2日に開催予定です。上級も、初級・中級を受講していなくても参加できますので、興味のある方は参加してみてください。



## 蛇紋岩 ～ 今年の干支の石 ～ 4

蛇紋岩が人間に与えてくれる恵みは他にもあります。それは、鉱物資源や銘石です。日高では、クロム鉄鉱やアオトラなどが有名ですが、ここでは、日高で一時代を築いた、日高ヒスイに触れたいと思います。

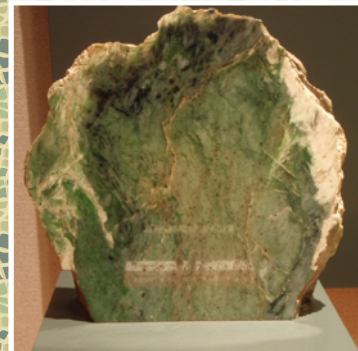
日高ヒスイは、1966年に発見され、当時の名産品として非常に人気がありました。採掘は数年で終了しましたが、日高ヒスイの原石は今でも河原で見ることができます。

日高ヒスイは、蛇紋岩がなければ生成されないものです。蛇紋岩を通る水にはCa(カルシウム)が多いことは、前回・前々回に述べましたが、そのCaが岩石に触れ続けることで、岩石中の鉱物の成分がCaにかたより、全体としてCaに富む真っ白な岩石に変成します。このような岩石をロジン岩といい、蛇紋岩と接している岩石が変成したり、また蛇紋岩自体がロジン岩に変成することもあります。その変成の過程で、日高ヒスイは形成されるのですが、なぜか日高ヒスイは、蛇紋岩自体が変成してできたロジン岩石中に含まれているのです。日高ヒスイは、蛇紋岩の中に含まれるクロム含む緑泥石がもとになっていると考えられています(番場,1972ほか)が、今なお、その形成については、研究の余地があります。

なお、日高ヒスイは、北海道各地の縄文時代の遺跡で、主に装飾品として見つかっています。北海道の縄文時代の人々も、日高の蛇紋岩の恵みに与っていたのですね。



日高ヒスイ (加工)  
(日高山脈博物館蔵)



ロジン岩中の日高ヒスイ  
(日高山脈博物館蔵)